

発行：2013年4月13日/発行責任者：特定非営利活動法人 シャンティ山口 代表 角 直彦  
 連絡先事務局 〒753-0215 山口市大内矢田717 佐伯昭夫 電話/Fax 083-927-4083  
 ホームページアドレス：<http://www.shanti-yamaguchi.com/>

公益社団法人 日本河川協会 主催 「河川文化を語る会」 の開催のお知らせ

## 第179回「河川文化を語る会」のご案内

### 講演 **エコトイレの神様奮闘記** **—自然循環式ecoトイレと途上国の水環境—**

講 師 <sup>さえき</sup> <sup>てるお</sup> **佐伯 昭夫 氏**

(特定非営利活動法人 シャンティ山口 事務局長理事)

「人の暮らし」と「自然環境保全」、目的達成のための手段は、原点に返りローテクのハイテク化を目指したものであります。トイレにおいては、生物多様性を駆使し、これまで糞尿は廃棄物として扱い処理していたが、資源として着目し100パーセント資源として活用し発生源で循環させ完結しているシステムです。「自然循環式ecoトイレ」開発のきっかけは、タイ国内の中でも極めて困難な暮らしをしている山岳少数民族村の自立支援活動をする中で、地下水に大腸菌・伝染病菌などが混入し多くの死者や脳性麻痺などの重度の後遺症で苦しんでいる状況から、原因調査の結果、人の排泄物と判明し、これらを解消すべく2005年から、かつて日本の文化でもあった「肥溜めと畑」からヒントを得て、現地で試行錯誤を繰り返しながら現地に適した理想のトイレシステムを開発することができたものです。これまで保育園・学生寮・共同トイレ・トイレのない村など84施設をつくってきました。安全で衛生的であり環境負荷を最小限にとどめたこのシステムは、まさに「原点に立ち返りローテクを駆使した」かつて日本の文化であった「肥溜めと畑の“わざ”と知恵」がなせる事例で、その他環境保全の取り組みを含めご紹介いたします。

#### 【講師略歴】

1945年山口市生まれ。2005年まで山口県職員(技術吏員)、主として公営電気事業・県営工業用水事業の建設・管理運営、河川・水資源関係の開発研究調査に従事。1988年SVA((公社)シャンティ国際ボランティア会)のアジア難民救済活動に参加。1993年シャンティ山口設立発起人(副代表理事に就任)。1994年~タイ国パヤオ県山岳民族自立支援事業に従事。2005年~シャンティ山口事務局長理事(無給・無休専属)。2007年~(独)環境再生機構の地球環境基金助成事業プロジェクトマネージャー。2010年より県民活動推進委員(山口県からの委嘱)。

- 開催日時 平成25年5月25日(土) 14:00~16:00
- 開催場所 山口県旧県議会議事堂 1F「夢交流ホール」  
(山口市滝町1-1 TEL:083-933-2268)
- 交通 JR山口駅からバスで約5分「県庁前」下車すぐ
- 参加費 無料
- 申し込み/氏名・(勤務先)・TEL・(FAX)・個人会員/一般の別を明記の上、FAX/郵送/E-mailの  
問い合わせ いずれかでお申し込みください。(参加票の送付等はありません。直接会場へお越しください)  
 ●公益社団法人日本河川協会「河川文化を語る会」事務局 担当:高木,佐藤  
 〒102-0083 東京都千代田区麹町2-6-5 麹町E.C.Kビル3F  
 TEL:03-3238-9771 FAX:03-3288-2426 E-mail:kataru@japanriver.or.jp  
 または ●「やまぐち水辺交流会」事務局 杉山 TEL/FAX:083-925-8295
- 申込締切 定員になり次第締め切らせていただきます。お早めにお申し込みください。  
 主催 公益社団法人 日本河川協会 共催 やまぐち水辺交流会  
 後援 山口県, やまぐち県民活動支援センター  
 当講演会は「土木学会CPDプログラム」として認定されています。

(切り取らずにこのままFAXしてください)



日本河川協会 行 FAX:03-3288-2426  
 第179回「河川文化を語る会」参加申込書

ふりがな  
 氏 名 二種正会員(個人会員)・一般・学生 (いずれかを○で囲んでください)

(勤務先)

※職種 (いずれかに○) コンサルタント・建設会社・その他民間企業・行政・財団/社団・NGO/NPO等・その他

TEL ( ) FAX ( )

(※ ご連絡いただきました個人情報は、厳重に管理した上で、講演会等当協会からのご案内に利用させていただきます。)